

## 令和4年度事業報告

### (概要)

新型コロナウイルス感染症が令和2年1月16日に日本国内において最初に報告されて既に3年が経過しました。令和4年度は、オミクロン株の流行により第7波・第8波と呼ばれる二度の大流行により多くの人が感染し、会員の皆さんにおいても感染者が発生しました。

しかし、令和5年2月には福岡県のオミクロン警報も解除され、3月にはマスクの着用も個人の判断となり、5月には感染症の分類も2類から5類に変更されることとなりました。このまま新型コロナウイルス感染症が収束することを願うばかりです。

このような状況下ではありましたが、今年度は公共施設における閉館等の措置が実施されることはありませんでしたが、民間施設においては新型コロナウイルス感染症の影響で就業が一部で停止になるなどの影響も残りました。

令和4年2月のロシアによるウクライナ侵攻の影響による物価上昇に伴い、原材料費等が上昇しています。加えて、インボイス制度の実施に伴う消費税の負担減免特例の創設を求めて全シ協とともに活動しましたが、認められませんでした。今後、インボイス制度に伴う消費税負担がセンター運営の大きな課題となっています。

令和4年度は以上のような状況にありましたが、当初の事業計画に掲げていた会員の確保については、会員数も324名となり昨年度と比較して5名の増となっています。また就業機会の確保については、民間の施設管理を受託できたこと、公共施設の閉館等が実施された令和3年度を上回る業務を請け負うことができました。

当期経常増減額に関しては、昨年度と比較して1,856千円ほど減となりました。これは、職員等の人件費や物価上昇による経費の増加が減となった原因であると分析しています。

この結果、当期増減額は4,049千円ほど増となり、正味財産期末残高が42,687千円余となっています。

以下事業実績及び主要事業について報告します。

### (実施計画に基づく事業について)

- 一 雇用によらない臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業機会の確保・提供事業・社会参加のための支援

## 1 就業開拓提供事業

### (1) 受託事業（一般）

高齢者の福祉の増進を目的に、地域に密着した臨時的かつ短期的、またはその他の軽易な業務を請負もしくは委任により引き受け、職群班組織や毎月発行している事務局だよりを通して、公平な就業を提供してきました。

#### ① 令和4年度実績

就業実人員	就業延人員	就業率	契約金額
人	人日	%	千円
288	33,904	88.9	170,797

#### ② 主な就業分野

職群別にみると一般作業群である草取り、草刈、清掃等が全体の52.4%となっており、続いて管理群である駐車場・駐輪場の管理や建物管理などとなっています。介護予防・日常生活支援総合事業における訪問型サービスAは、9件の依頼がありました。

契約金額では、公共及び公社公団からの受注が約61.8%を占めています。

## 二 雇用による臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業機会の確保・提供

### 1 労働者派遣事業

派遣労働を希望する会員を対象に「労働者派遣事業の適正な運営の確保及び派遣労働者の保護に関する法律」に基づき、労働者派遣事業を実施しました。

#### ① 令和4年度実績

就業実人員	就業延人員	就業率	契約金額
人	人日	%	円
34	3,119	10.5	10,969,390

#### ② 主な就業分野

学校給食運搬車の運転業務、中学校や一部の小学校の清掃及びその他の業務、レンタル用品の洗浄業務、民間保育所における児童の受け入れ業務及び老健施設における調理補助業務を派遣として引き続き受注することができました。

## 2. 有料職業紹介事業

雇用を希望する高齢者に、臨時的かつ短期的又はその他の軽易な業務の範囲において就業を斡旋する事業で、職業安定機関と連携し雇用情報等の収集や情報交換を行うものでありますが、利用者はありませんでした。

### ① 令和4年度実績なし

## 三 高齢者の就業機会の確保や社会参加活動を発展・拡充するための普及啓発、情報提供、研修・講習、相談・助言、調査研究等

### 1. 普及啓発事業

#### (1) 広報活動

令和4年度は、岡垣町役場長寿あんしん課が開催する介護保険被保険者証交付会に合わせて、新規取得者にシルバー人材センター事業の紹介や入会について説明を行いました。自治区長会議に出席し、センターの紹介及び会員募集の説明を行いました。

また、広報おかがきへの定期的な掲載や郵便局の窓口封筒及び当センターの窓開き封筒を活用して、当センターの事業紹介や入会についての広報を引き続いて行いました。その他にも、社会福祉協議会が年6回発行している「社協だより」に会員募集や就業依頼の広告を掲載し、朝日新聞や西日本新聞にもスポット的に会員募集や就業依頼の広告を掲載するとともに、社用車10台の運転席及び助手席ドアの側面を利用して、「会員募集中」の案内表示を昨年度に引き続いて行いました。

次に、全国シルバー人材センター普及啓発促進月間に合わせて町内2か所のスーパーにおいて、役職員及び会員でチラシの配布を3年ぶりに実施することができました。また、全国統一で行われている要望活動は、岡垣町長及び岡垣町議会議長に対して理事長、事務局長において実施しました。

次に、昨年度に引き続いて入会説明会に参加した住民で、当センターの会員に未登録の人に対して、入会の働きかけを行いました。

#### (2) 社会参加活動

毎年5月と10月を「岡垣町シルバー人材センターの日」と定め、岡垣町役場庁舎周辺での除草・草刈り活動を5月と10月に実施し合計で149名の参加がありました。海老津駅周辺では、3年ぶりに清掃活動を1回実施することができ、48名の参加がありました。焼酎岡垣の原料となる黄金千貫の植栽・収穫作業も実施され、植付作業・収穫作業に20名の参加がありました。その他にも三里松原内の松葉かきにも5名の会員が参加しました。



識の高揚に努め「事故ゼロ」を目指して取り組みました。その他にも新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を行いながら、7月から3月にかけて例月の安全パトロールを屋外作業中心に実施し、不安全行動などについてチェックし指導を行いました。しかし、本年度は残念ながら2件の傷害事故、4件の賠償事故が発生しました。賠償事故では、事務局到着前に保障について話をしたため保険対象外の部分まで補償する必要も発生しました。

また6月から11月までの繁忙期において地域班別を実施していた無事故コンクールを、令和3年度同様14の地域班を7グループに分けて実施しました。本年度は、期間中に5件の事故が発生したため、7グループ中2グループがしか無事故を達成できませんでした。

## (2) 適正就業

シルバー人材センターでは、臨時的、短期的かつ軽易な作業を中心として、会員がローテーションにより就業をしています。今後もこのことを基本として様々な就業に従事することとします。

指示命令が伴う就業については、今後も派遣として就業を行えるよう依頼者とも十分に協議します。

## 3. 相談事業

### (1) 入会説明会の実施

入会説明会は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を行いながら、会員拡大のため毎月第3水曜日にいこいの里において実施しました。このことから入会説明会に60名の参加者がありました。また今年度は、退会者が33名ありましたが、入会者が38名であったことから、会員数は324名となり昨年度と比較して5名増となりました。

### (2) 就業相談の実施

会員の就業等についての相談や悩みなどの個別相談を10月と2月の年2回実施しました。今年度は相談に1名の参加がありました。

## 4. 研修・講習事業

令和4年度は、県シ連が主催する人材確保育成事業における「刈払機講習会」をいこいの里において2日間実施し17名の受講者が参加しました。会員拡大の取り組みとして、今後も継続的に実施していきます。

また、草刈り作業中の飛び石事故を防ぐために、草刈班の会員同士による草刈機・芝刈り機の安全講習をサンリーアイにおいて実施し、23名の参加がありました。

毎年実施している健康講習会では、昨年度まで実施していた「終活セミナー」から変更し、生命保険会社から講師を派遣してもらい「健康長寿の秘訣」と題し、人生100年時代に向けた心がけや対策を学びました。

また、交通安全講習会では折尾警察署に講師をお願いし、令和5年4月から努力義務となる自転車のヘルメット着用や夜間の交通安全について、現在町内でも発生している振り込め詐欺防止のため、実例に基づく注意点などの講習があり55名が参加しました。

子育て支援サービスの一環として取り組んでいるバルーンアート同好会について、3月除き毎月実施することで技術の向上を図ることができました。また、センターの普及啓発のため、まつり岡垣に参加して作品を配布し大盛況となりました。本年度からは、東高倉区のふれあいサロンや百合丘区の定例会に参加し、バルーンアートの披露をするなどの新たな取り組みを行いました。



「女性の会」は、6名から8名の女性会員により運営され13回開催されました。「まつり岡垣」や「シルボンヌ福岡県大会」に参加し、会員が製作した作品を販売することができました。作品の披露・販売が久しぶりにできたことで会員の士気も上がり会員同士の交流を深めることができました。

## 5. 調査研究事業

シルバー人材センター事業を発展させていくためには、役員が様々な事業について理解し調査して意見を述べるのが大切です。そのため役員における先進地の視察研修について、本年度再度計画していましたが、新型コロナウイルス感染症の第7波・第8波による流行により、中止をすることとしました。